

ため池タイムライン (泳池)

気象情報 時間軸	事象・気象情報		水位情報			参考	
	事象	気象情報 土砂キキクル (大雨警報(土砂災害)危険度分布)	各務原市			ため池栓 操作者	周知すべき 住民の行動
			農政課	防災対策課	河川公園課		
3日前 -72h	大雨の可能性がある 大雨の可能性が高くなる ため池損壊に及ぶ大雨の恐れがある	前線移動等による豪雨予測	ため池の貯水位確認 協力機関の体制確認 重大な異常の把握	情報共有 異常による緊急安全確保		ため池の貯水位等確認 重大な異常の発見	ため池諸元 泳池 貯水量 7,000m3 堤高 4.9m 洪水吐形式 越流堰型 改修歴 平成5年度
-48h	大雨が始まる、降雨の強さが増す ため池の重大な損壊に繋がる豪雨の恐れがある		ため池の貯水位確認 土砂キキクル等気象情報を注意深く確認		低水位管理協定により、ため池栓による事前放流 満水位-75cm 第1栓開放	ため池の貯水位等確認 ※警戒レベルが高い時は待機<ため池に近づかない>	関係者連絡先 羽場農事改良組合長 松が丘6丁目自治会長 羽場町1丁目自治会長 羽場町2丁目自治会長 おがせ町第4自治会長
-24h	ため池上流等、土砂災害発生の危険度高まる	【警戒レベル2相当】 大雨注意報 キキクル危険度「注意」	水位予測の確認 1/10水位超過 洪水吐底 +15cm	情報共有 大雨警報発令の可能性が高く、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達する見込みとなった場合、 避難場所の開設準備		ため池の貯水位等確認 ○インターネット等による大雨、河川の状況確認(土砂、洪水キキクル) ※必要に応じて避難準備	【警戒レベル2相当】 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 キキクル危険度「注意」
		【警戒レベル3相当】 大雨警報(土砂災害) キキクル危険度「警戒」	水位予測の確認 下流河川への注意情報伝達	情報共有 大雨警報が発令され、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達した場合、 高齢者等避難発令	下流河川への注意情報対応	○避難準備	【警戒レベル3相当】 大雨警報(浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報 キキクル危険度「警戒」
	ため池被災の危険性増大	【警戒レベル4相当】 土砂災害警戒情報 キキクル危険度「危険」	水位予測の確認 下流河川への警戒情報伝達	情報共有 洪水吐が危険水位(警戒レベル4相当)に達した場合、 避難指示発令	下流河川への警戒情報対応	避難行動は日中での実施が原則! ○高齢者等避難行動(LV3) ○避難行動(LV4)土砂災害・洪水ハザードマップと同時にため池ハザードマップの情報にも留意	【警戒レベル4相当】 氾濫危険情報 キキクル危険度「危険」
		【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(土砂災害) キキクル危険度「災害切迫」	堤頂水位超過 洪水吐底 +1.5m	大雨特別警報解除後、緊急点検を実施・報告 重大な異常の発見	ため池水位が堤頂(警戒レベル5相当)に達した場合、 緊急安全確保発令	○緊急安全確保 ○緊急避難行動	【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(浸水害) 氾濫発生情報 キキクル危険度「災害切迫」
解除後	ため池損壊等異常発見		緊急放流、補修による応急復旧対策 その後、緊急補修対策	情報共有 異常による緊急安全確保	下流河川への警戒情報対応		ため池の役割 本ため池に貯留された水は、下流にて農業用水として利用されています。 また、ため池は降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整や土砂流出の防止などの役割を持っています。

事前の備え・情報収集

気象庁
気象庁ホームページ

キキクルはここを押す

各務原市「情報メール」
登録はこちら →

または、t-kakamigahara@sg-p.jp
まで空メールを送信

水位監視による危険度予測(洪水吐水位)

洪水吐高さ

水位が洪水吐高さの
1/2以上 危険
1/10以上 注意

洪水吐とは?

満水位以上の水が流入する時に、堤体を越えて水があふれないよう自然に水を放流する施設です。

○洪水吐の設計基準
・200年に1度の規模の降雨でも安全に放流可能
・流木等で閉塞しない大きさ

地震発生時の対応

○震度5弱以上の地震発生後(堤高1.5m以上のため池は震度4以上)
・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告

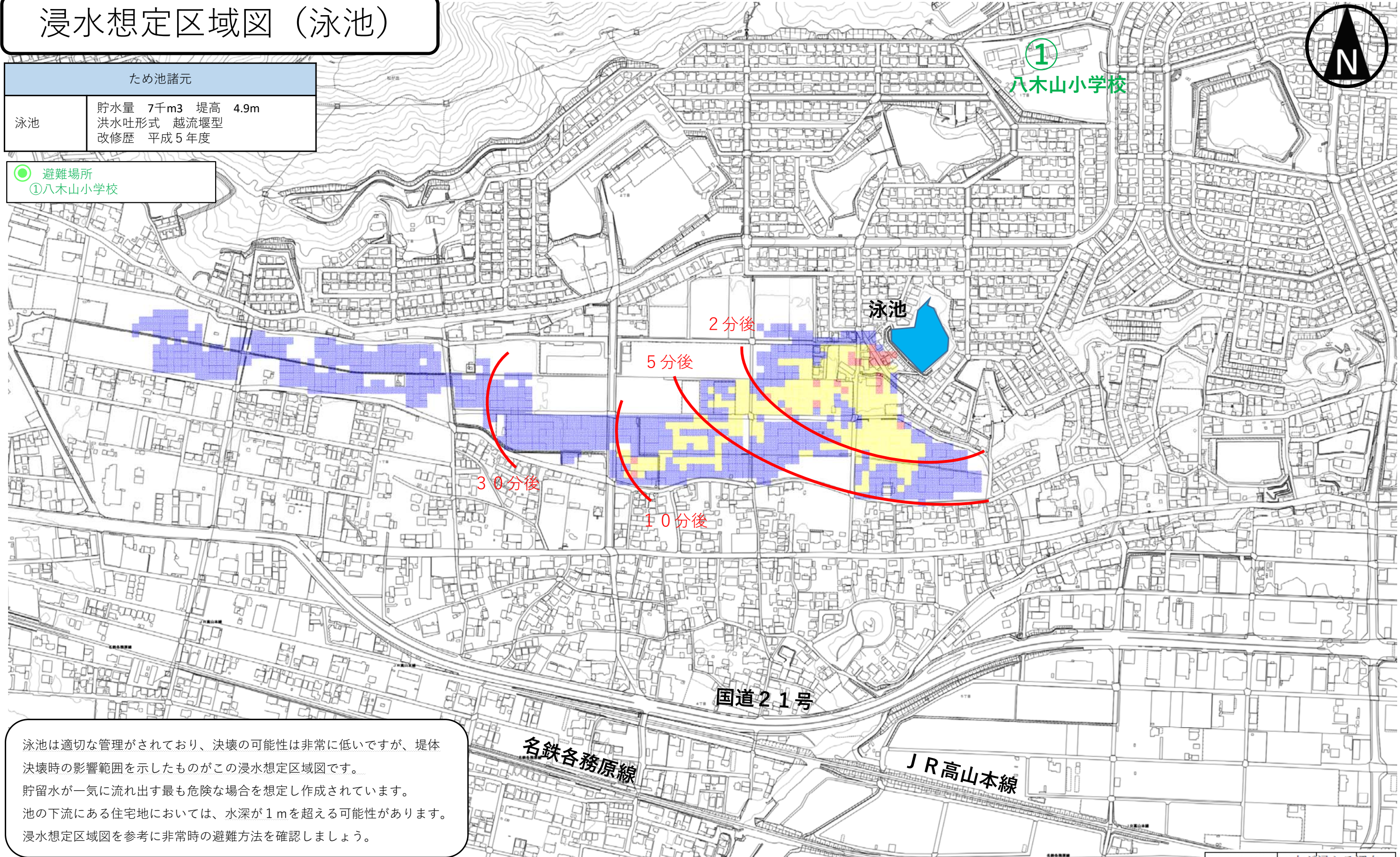
○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合
・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施
・緊急放流、補修等を実施

浸水想定区域図（泳池）



ため池諸元	
泳池	貯水量 7千m3 堤高 4.9m 洪水吐形式 越流堰型 改修歴 平成5年度

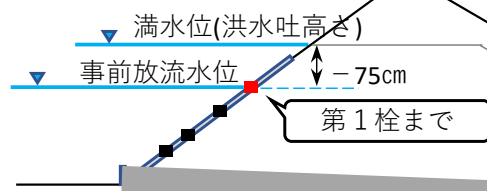
◎ 避難場所
①八木山小学校



泳池は適切な管理がされており、決壊の可能性は非常に低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。
貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。
池の下流にある住宅地においては、水深が1mを超える可能性があります。
浸水想定区域図を参考に非常時の避難方法を確認しましょう。

ため池管理水位

大雨・台風予報時(かんがい期(6月～3月))



農閑期には、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。
大雨や台風通過が予測される際には、事前に水位を下げておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

泳池 管理状況
<ul style="list-style-type: none"> 草刈り： 草刈り時に堤体及び施設の点検（ため池管理アプリや点検チェックシートによる） 管理水位：左記による 管理手法について ため池管理マニュアル⇒



ため池上流域について
上流域は、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、注意が必要です。 また、浸水想定区域の一部においても、土砂災害警戒区域と重なっているエリアがあるため注意が必要です。

歩行困難度判定	水が浸かる深さ	
	浅い	深い
水が流れる速さ	遅い	可能
	速い	危険